

【様式】 令和2年度 高志高等学校 学校関係者評価書

(問) ・令和2年度の成果と課題について
・令和3年度に向けての改善策・向上策について

(意見を聞いた方)
PTA役員 5名

○確かな学力の向上

〔成果と課題〕

- ・与えられた課題の学習への取組が不十分な生徒が7%いたということで、そういう生徒への指導の徹底を強化してほしい。
- ・中高一貫教育の充実は、向上を図るための数字で、結果を出す。
- ・教職員アンケートにて目標に達していないが、R元年度と比較して改善がみられてR3年度につながると思いますので、改善策や向上策を進めてください。生徒及び保護者の満足度は高いとみられる。
- ・分析、自己評価、改善策等については、適切と考える。
- ・課題の内容等について工夫されることと、生徒からの提出された課題から、その状況(質)を把握するよう努めてほしい。
- ・全体的な向上が見られたのは良いと思われる。

【改善策、向上策】

- ・授業改善のための教科検討会は、少しずつ上がっているので、今後も努力を続けてほしい。
- ・特にaの改善策等について、学習時間の長さは、調査や面談などで図ることができるが、重要な点として、家庭学習の質を向上させることを考える。
- ・アンケートは、受け取る人により、捉え方が変わるので、85%以上の数値のある項目については、今後の変化、内容をより把握できるよう、質問内容を定性的なものから、定量的なものを変更していくことも検討してほしい。

○家庭・地域との連携強化

〔成果と課題〕

- ・ZOOMなどのオンライン等コロナ禍で実用性も考えていってほしい。
- ・色々な保護者対象、生徒対象の研修会、PTA研修会学校行事をリアルタイムにもっとHPに掲載してほしい。
- ・HPにはPTA活動は掲載した方が、子ども達、保護者方学校側の3者についてわかりやすい見える化が可能であるので、前向きに検討してほしい。
- ・コロナ禍で利用が高まったので、リアルタイムの発信を続けてほしい。
- ・PTAを通して学校と直接かかわっていて、「開かれた学校」という印象を強く持っており、その結果として、保護者の評価が高いことが伺える。常に活動の見直しを学校と連携できればよい。
- ・分析、自己評価、改善策等については、適切と考える。
- ・保護者が協力する姿勢については、十分に確立されていると感じています。ただ、学校側からの案内を親が知らないということを良く聞く。学校→生徒→保護者→の連絡ルートだけでなく、学校→保護者のルートが増える方法があれと良い。

【改善策、向上策】

- ・PTA便りのみではなく、色々な方法で連携を深めていく。
- ・bのPTA活動について、新型コロナウイルスの感染対策を意識した新しい取り組み方を検討し、学校と保護者との連携充実を図ってほしい。

○働き方改革

〔成果と課題〕

- ・業務の見直しを更に力を入れた方がよいと思う。
- ・業務見直しと平準化で全教職員の方が目標達成できることを期待している。
- ・分析、自己評価、改善策等については、適切と考える。生徒との面談・指導時間の確保と時間外縮減のバランスは難しい課題と考える。

【改善策、向上策】

- ・生徒に共通した内容を周知するときは、Google Classroomなどを併用し、空いた時間を個別指導に使っていただきたい。また、職員会議の時間短縮がなされたが、職員間の情報共有は十分にやってほしい。
- ・他校では、45分授業を実施しているケースもあります。そうした授業時間の短縮や部活の実施日見直しなど、より先生方も時間がつくれる体制を検討すべきと思う。

○基本的生活習慣の確立

〔成果と課題〕

- ・休みが多いなら、解放時間を決めて、貸すのもよい。
- ・全項目に対してほぼR元年度より改善されていることは評価できると思う。全体的に生徒各自が「よいこと悪いこと」の判断基準を持てれば改善され、学校全体の雰囲気がそのようになっていけば、この項目自体を評価する必要もなくなってくると思う。
- ・分析、自己評価、改善策等については、適切と考える。
- ・「言われるから守る」ではなく、「高志の生徒だから」という自覚から自分の身を律することができることが理想だと思う。

【改善策、向上策】

- ・スマートフォン等の使用や社会的ルール・マナーについて・子ども達と保護者も一緒に学校側との3者で共有したルールづくりが現状把握した上で必要があると思います。今までは一方通行で、複数回の機会を設けることを検討してほしい。
- ・aのスマートフォン等のルールについては、具体例を挙げた文書を配布することで、家庭でのルール化が進むと思うが、ルールを作っても守らなければならないので、生徒自らルールを提案し、守るようにしなければならないと思う。
- ・高志高校とはという理念をより生徒に理解してもらおう場を増やして頂きたい。

○進路指導の充実および進路希望の実現

〔成果と課題〕

- ・保護者を巻き込んでいくことで、より近い存在の協力を頂けるので、様々な情報を共有できる子ども達のためになると思う。
- ・コロナで仕方ないとはいえ、大学の情報は体感できなくて残念。
- ・R2年度は、オープンキャンパスの参加が難しい状況であったため、今後1年生と2年生に対して、高い進路目標をどのように持たせるかが、大きな課題だと思う。そのため、情報収集と情報発信に工夫が必要だと思う。アンケートから教職員の方々の生徒に対しての関わりに、保護者として安心した。
- ・分析、自己評価、改善策等については、適切と考える。

【改善策、向上策】

- ・進路選択や高い進路「目標をもっと具現化できるように、早期からPTAと協力し合って、多くの機会を開催してほしい。
- ・bについて模試の見直しは、その時点での自分の弱点を見つける大事な機会であるので、1、2年生であっても、しっかりと見直しをするよう「声掛け」ではなく「指導」してほしい。

○主体的な行動力と豊かな情操の涵養

〔成果と課題〕

- ・コロナ禍続く限り、これからもリアルタイムな情報提供していくことが必要だと思う。
- ・今までより、コロナ禍でストレスを抱える子供が多く、悩みを話せる余裕や環境ができていないと思う。改善していく必要があると思う。
- ・「探究する力」「社会貢献への意欲」に引き続き力を入れていく。
- ・R2年度選択型研修旅行が中止になり、生徒たちにとっては残念であったが、その状況で「何ができるか」ということを考え行動することは、今後に生かせると思う。また、大学入試だけ、焦点をあてるのではなく、人間の幅を広げるための「読書」を推奨していることはありがたい。
- ・分析、自己評価、改善策等については、適切と考える。
- ・データとしても実感としても「活字離れ」はより進んでいると思います。より読書の機会を増やすと共に、読書をする事の利点、人生に対しての必要性などを伝えてほしい。

【改善策、向上策】

- ・b)について家庭での読書が減少している。スマートフォンなどが普及し、電子書籍を読むようになったのかもしれないが、紙の書籍を読むことも大切だと思う。図書館の活用を進め、様々な分野の本を読む取り組みを図ってほしい。

○全体(総括)

- ・悩みを打ち明ける相手が身近な親、先生、友人なども、また、無関係の専門の人にオンラインでとか、選べるようなケーススタディもといれていけるといいと思う。
- ・難しい環境の中で頑張っていると評価している。
- ・コロナにより「今までと異なる生活」になるが、逆に新たなものを産み出すチャンスと思う。PTAとしても、そのような思いで取り組んでいきたい。
- ・改善策・向上策の実施においては、現在コロナウイルスの影響で、活動制限や行動制限がなされる状況であるので、これまでとは違う方法(オンラインの活用など)を意識して進めていかないと、評価が伸びてこない項目も出てくるのではないかと考える。環境の変化に対応した教育活動を期待している

○今後についてのご意見

- ・学校側だけでなく、もっとPTAや保護者に理解と協力を求めていくことが、コロナ禍だからこそ、可能なので、早く取り組んでいく必要があると思う。

(学校関係者評価を踏まえた今後について)

- ・今後ともPTAとの連携を密にとりながら、学校運営をすすめていく。
- ・生徒のキャリア形成を支援するにあたっては、生徒が安全・安心な高校生活を過ごし、夢や目標の達成に向けて進路目標を実現できるよう、PTA役員・保護者との連携をより一層充実する。
- ・PTA関係の行事や取組を企画・立案する際は、学校の考えをPTAに認めてもらうという方法ではなく、対話を繰り返してPTAと一緒に作り上げていくようにする。
- ・保護者への情報伝達の方法を工夫し、連絡文書をデジタル化して直接保護者に届ける工夫や、学校ホームページに掲載する情報の充実等に取り組む。